

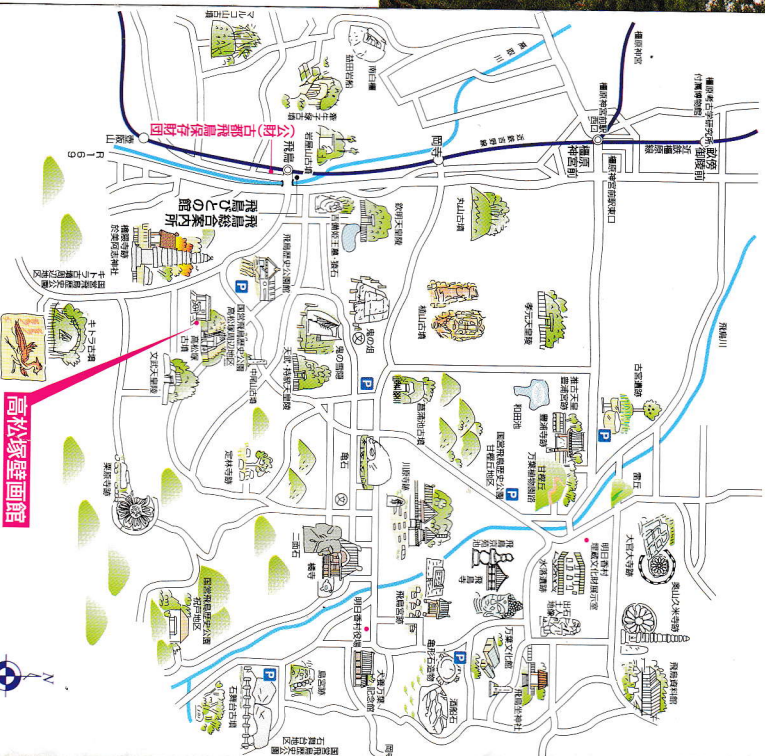
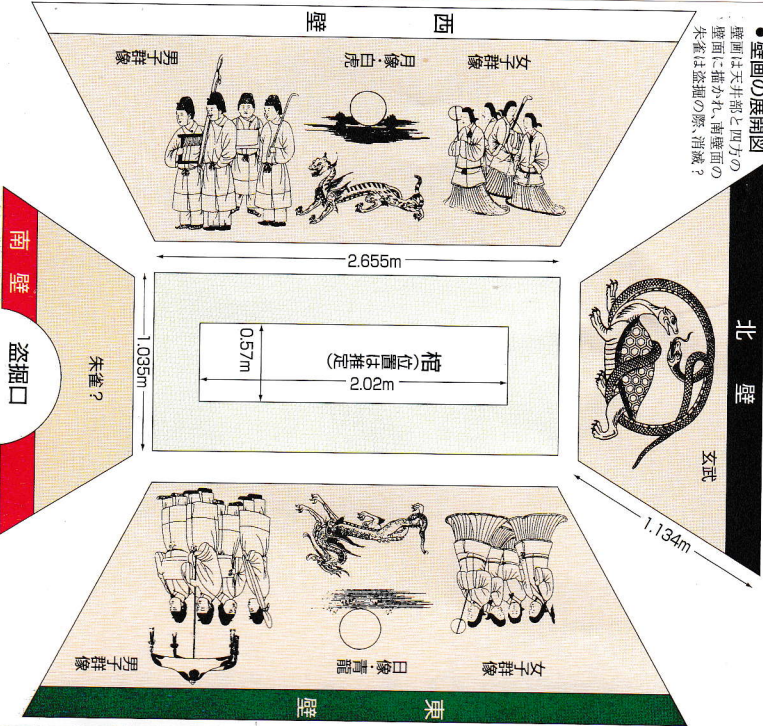


高松塚古墳

高松塚古墳壁画は昭和47年3月、橿原考古学研究所の調査により発見されました。その後壁画は国宝に指定され、保存上いつさの公開されませんでした。その後、古墳の隣接地に壁画館を建設し、石室内部の模型と壁画の忠実な模写・模造を展示することになったのです。古代史解明の貴重な文化財として海外からも広く注目を浴びている壁画を、あらゆる角度から鮮やかに再現した技術力の結晶をごゆっくり鑑賞ください。なお、現在高松塚古墳壁画は、仮設修理施設での修理は完了し、保管されています。この壁画館は高松塚古墳保存の記念郵便切手の寄附金によりできました。

●壁画の展開図

壁画は天井部と四方の壁面に描かれ、南壁面の朱雀は盗掘の際、消滅?



高松塚壁画館

区分	個人	団体(10名以上)
大人	300円	250円
学生(高校・大学)	130円	100円
小人(小・中学)	70円	50円

壁画館への道順

- 近鉄飛鳥駅から徒歩15分。
- 飛鳥駅前レンタルサイクルがあります(約5分)
- 壁画館へ車では乗入れできません。
- 飛鳥史跡めぐりのご案内は駅前総合案内所「飛鳥びと」の館で。

観覧料

開館時間
午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

休館日

12月29日～翌年1月3日

公益財団法人 古都飛鳥保存財団

高松塚壁画館

〒634-0144 奈良県高市郡明日香村平田439
TEL&FAX 0744-54-3340

公益財団法人 古都飛鳥保存財団
〒634-0138 奈良県高市郡明日香村殿13-1
TEL 0744-54-3338 FAX 0744-54-3638
<http://www.asukakabito.or.jp>

飛鳥の美ここに再現



高松塚壁画館



原寸・原色で再現した“飛鳥の秘宝”展示品紹介 彩色壁画

● **四神の図と日像・月像** 四神は中国の思想に基くもので古来天子の象徴として用いられ、四方を鎮護し東西南北の方位を表します。青龍(東)朱雀(南)白虎(西)玄武(北)亀と蛇は星座の形から具象化されたものです。青龍・白虎の上部にそれぞれ日像・月像が描かれており、天井の星宿とともに被葬者の尊貴性を物語っているとされます。

● 彩色壁画 発見まで…

高松塚古墳は飛鳥地方の西南部に位置し、この一帯は磐隈と呼ばれています。渡来人がとくに居住したといわれ、周辺には天武・持統、欽明、文武の名皇陵や中尾山古墳、岩屋山古墳などが築かれています。江戸時代のごころ、高松塚は文武天皇陵ではないかと伝承されていた記録も多くみられます。地元の人が墳丘の南斜面で作物貯蔵用の穴を掘ったところ、凝灰岩の切石を発見、これがきっかけとなって昭和47年3月から調査が行われ壁画発見となったのです。

- **現状模写** 発見当初の姿を、越前和紙に岩絵具で忠実に模写したものです。西壁・北壁・東壁を展開状態で展示しております。
- **一部復元模写** 絵を見易くするため剥落や汚れを加減して模写したものです。赤外線・顕微鏡写真などをもとに模写修正を行いました。
- **人物群像** 男子4人、女子4人各1組の群像が、東西両壁に2組ずつ(計16人)描かれています。男子群像のいすれもが蓋、柳筐、床几、鉢のようなものを持つているのに対し、女子群像は人々が東壁では団扇、私子を、西壁では翳如意を持ってゐるのが特色です。どの像もすべからぬ筆致で実に細かく描かれ、わが国美術、絵画史上すぐれた作品と評価されています。
- **壁面再現模造模写** 高松塚古墳石櫛と同じ材質の二上山糸の凝灰岩にしつこく質を塗り、西壁の女子群像を模写再現しました。
- **石櫛模型** 発見当初の石櫛を忠実に再現したものです。盗掘口部から内壁の現状壁画がごらんいただけます。

副葬品

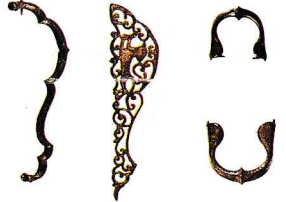
発掘時石櫛内から出土したものは海獣葡萄匏鏡、銀荘唐様大刀の外装具、ガラス、コルク製の玉類のほか、棺を飾っていた金銅製透飾金具、円形飾金具、銅製角釘など。いずれも美術工芸史上貴重な資料です。

● **副葬品模造** 発掘の際、発見された鏡、大刀飾金具類など棺関係遺物の一部を模造し展示。

● **天井部の星宿図** 天井石の中央、約1m四方の範囲に描かれたもの。直径90mmほどの金箔を円形にはりつけ未練で結び、星座を表現したものです。東西南北七宿ずつ計二十八宿を描いています。



海獣葡萄匏鏡



大刀の外装具
(石塚 胃金、銀製山形飾金物)

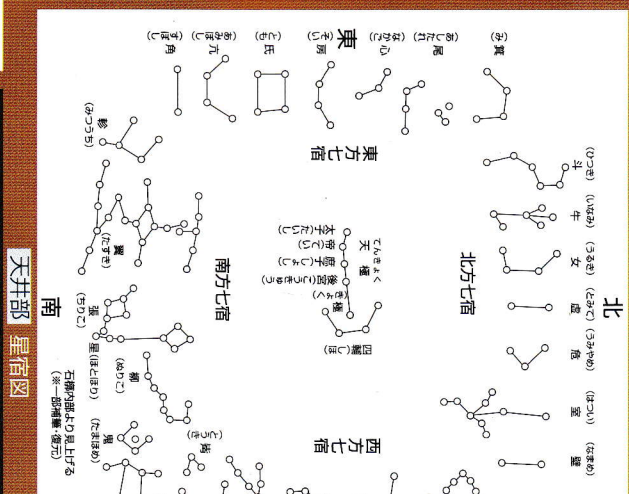


棺の留金具
(円形飾金具、圓金具、銅釘)

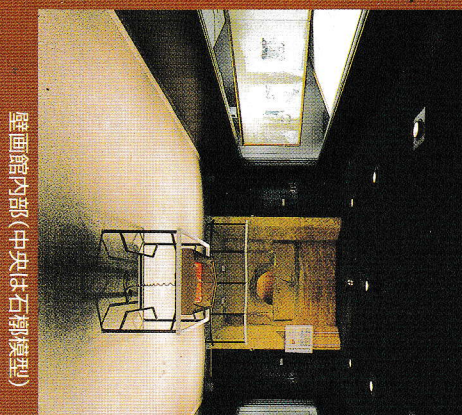
金銅製透飾金具

飛鳥時代略年表

538年	百濟から仏教が伝わる(仏教公伝)	649年	中大兄皇子、蘇我石川麻呂を滅す
574年	聖徳太子誕生	668年	皇太子中大兄皇子即位する
588年	法興寺建立にかかわる	670年	戸籍(庚午年籍)を作る
592年	蘇我馬子、崇峻天皇を殺害	671年	大海人皇子(天武天皇)弘文天皇を滅す
593年	聖徳太子摂政となる(豊浦宮)	672年	飛鳥浄御原宮にて即位(天武天皇)
600年	第1回遣隋使、新羅征討軍を派遣	673年	役人の出身法を定める。
603年	冠位12階制を制定(小墾田宮)	675年	豪族の私有地を廃止する
604年	聖徳太子、17条憲法を作る	681年	律令と国史の編さんをはじめ
606年	飛鳥大仏完成、橋寺建立	688年	大津皇子、謀叛の疑いで処刑される
630年	第1回遣唐使	689年	飛鳥浄御原宮の制定
643年	蘇我入鹿、山背大兄王を殺害	694年	藤原宮に都を移す
645年	大化の改新(飛鳥板蓋宮)	701年	大宝律令の制定
		710年	都を藤原から平城京に移す



天井部 星宿図



壁面館内部(中央は石櫛模型)